



# かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



## かすりの小径とはどんな道

その庭園の奥にある茶室へとつづく道に配された幾何学模様に似た石畳、ふと足を止めてその石畳の模様に見入りながら、久留米にこんな風景があったのかといつのまにかカメラのシャッターを押していました。

寺町には17のお寺が甍を連ねています。県内は言うに及ばず、九州でも有数の規模の寺町を形成しているのではないでしょうか。この寺町通りには江戸時代から昭和の時代に活躍した偉人たちが数多く眠っています。勤王の志士で寛政の三奇人と言われた高山彦九郎(遍照院)、洋画家古賀春江(善福寺)、久留米つづじ始祖坂本元蔵(妙正寺)、洋画家青木繁(日吉町・順光寺)など数えきれないほどの偉人たちがこの寺町界隈に眠っています。冒頭に紹介したお庭は遍照院庭園内にある彦九郎の号から名付けられた茶室「以白庵」につづく道です。

そして遍照院の向かいある徳雲寺境内に眠るのが久留米絣の始祖「井上伝」(1788~1869)です。通外町に生まれた井上伝は10代中頃には絣の原型である「霜降り」や「霞織り」から「絵がすり」まで工夫開発しました。

寺町通りから南に昭和通りをわたり順光寺方面へ、程なく見えてくる煉瓦造りの蔵は旧国武絣倉庫です。久留米絣を全国に、いや世界に広めた国武喜次郎、明治のはじめに建てられたという煉瓦造りのこの蔵がその面影を留めています。

かすりの小径は、これら久留米の原風景ともいえる遺構や歴史を辿る道なのです。絣と久留米を動かした偉人たちに想いを馳せながら、ゆっくりと秋の日をそぞろ歩いてみませんか。

## CONTENTS

2p・かすりの小径ウォーク開催

3p・「大久留米絣展」  
東京銀座で開催される

4p・EVENT

- ・絣着こなし術 今村千恵子さん
- ・地場産ショップインフォメーション



# かすりの小径ウォーク

## かすりの小径ウォーク開催 ～かすりを身につけて、秋の寺町を散策しませんか！～

糺に出会う  
久留米の原風景に出会う  
そして、久留米を再発見する  
あなたが歩きたくなる  
「かすりの小径」です。

とき: 11月23日(祝)

13時～17時

ところ: 寺町通り～  
日吉町楠病院前  
旧国武倉庫

かすりすとの皆さんごきげんいかがですか。  
久留米の町もすっかり秋の気配といつも、まだ汗ばむ日もありますね。かすりすと発足以來、温めていました「かすりの小径」プロジェクト。いよいよかすりの小径ウォークとして実現します。日時は秋日和の11月23日、勤労感謝の日です。この小径の舞台となる寺町～日吉町界隈は何も大観光地化したところでもなんでもあ

りません。普段は閑静な寺の佇まいとかすりの遺構がある静かな街です。その飾り気のない本來の街のにおい、歴史の香りを味わってみませんか。この日は井上伝さんにまつわる講演会や糺の展示や販売、久留米の銘菓の販売など、かすりすと企画委員さんなどのボランティアさんによる「ほとめき（久留米弁でもてなしの意）」をしたいと考えています。ふるってご参加ください。

### イベント1

#### 久留米かすり講演会 「お伝さんとくるめ商人の足跡を辿る」

講師: 古賀 勝 氏  
(13:20～1時間程度) 受付12:50～  
定員: 100名(電話受付・先着順)  
会場: 千栄禪寺(寺町通り)  
お申込み: 地場産くるめ  
TEL: 0942-44-3700



古賀勝氏プロフィール  
1938年久留米生まれ  
1957年ラジオ九州(現RKB毎日放送)入社  
1989年RKB毎日放送久留米支社長  
2000年「大河を遡る/九重高原開拓史」西日本新聞社刊  
2002年10月～04年3月西日本新聞連載  
「筑紫二郎の伝説紀行」執筆  
現在、久留米商業高校同窓会副会長兼広報委員長

### イベント2

#### 香蘭ファッショントレーニング 専門学校学生による 久留米糺作品発表・販売 (13:00～17:00) 会場: 善福寺(寺町通り)

主催／くるめかすりファン俱楽部「かすりすと」運営委員会(財)久留米地域地場産業振興センター内  
【お問い合わせ】地場産くるめTEL.0942-44-3700

### イベント3

#### 久留米糺&久留米銘菓販売

<11:00～17:00予定>  
久留米糺織元の久留米糺や小物、端切れの販売。また久留米菓子組合竹友会有志による、旬のお菓子やくるめ旬菓「はぜぼたもち」の販売を予定しています。

●当日は駐車場は用意しておりません。  
公共交通機関をご利用下さい。

### 交通アクセス

西鉄久留米駅より(千歳通り)を通って寺町・国武糺倉庫まで徒歩約10～15分  
※駐車場は用意しておりません。  
公共交通機関をご利用下さい。  
※寺町の寺院は観光寺院ではありません。勝手な立入はご遠慮いただき、係員等の指示に従って下さい。



# 「大久留米紺展」in 東京



去る10月24日(火)から29日(日)の6日間、東京銀座で久留米紺発祥一百年伝統的工芸品指定三十周年記念「大久留米紺展」が開催されました。この展示会は、筑後地区の織元でつくる「久留米紺協同組合」が主催し、毎年1回全国の主要都市で展示会を開催し久留米紺の普及に努めているもので、今回は、銀座を中心に呉服店を営まるる「青山みどり」さんの協賛により実施されました。会場の銀座画廊美術館には、約三百点の反物をはじめ洋服、小物など合計約五百点がせましと展示され、多くの久留米紺ファンの目を楽しませました。また、会期中は同組合による「久留米紺トーキョー」やお客様がお持ちになつた「久留米紺の鑑定」の展示会の中で、「かすりすと」のPRや募集の場所をいただきましたので、かすりすと企画委員からも参加し、開催初日のオープニングでは開催関係者とともにテープカットの役もいただきました。

2日目の25日(水)から27日(金)の3日間は、久留米紺の歴史や技術を学ぶ「久留米紺講習会」を、かすりすと企画委員会会員の山村健氏・野村憲一郎氏を講師に実施しました。10時の開場とともに始まった講習会には、朝早い時間にもかかわらず、3日間で39名の久留米かすりファンの皆様に受講いただきました。講義の後、紺の実演や体験もしていただき、受講者は大変喜んでいただきました。

参加者の都内在住の熊田祐子さんは、手織り機(投げ杼機)の体験もされ「布に興味があり参加しました。実際に体験できて大変楽しかった。杼(横糸)を投げた後の糸の引き具合(横糸を締める引き込みの力の程度)が難しかった。いつか自分で図案づくりからやってみたい」と話されていました。

27日には、かすりすと名誉会長でもある江藤守國久留米市長が、公務出張の時間を利用して駆けつけられ、産地を代表して講習会の冒頭に久留米紺と産地をPRされました。また、福岡県出身で、歌舞伎俳優の片岡亀藏さんに嫁がれ東京都在住の片岡明美さんも、久留米紺が大好きだということで、華やかな久留米紺の着物をお召しになりお見えいただきました。

銀座の街でも和服姿がちらほらみられましたが、久留米紺の着物や洋服になつての来場者もあり、銀座で紺の着物が粹に似合う場面を目の当たりにしました。その他にも、久留米紺を卒業論文のテーマにしたいという、日本服飾史を大いに学ぶ学生さんが勉強に訪れて、熱心に質問をする姿もありました。

東京では、なかなか見ることが出来ない数多くの作品や久留米紺に関する話など、来場者の皆様には「久留米紺」の良さをPRできたものと思っています。そして、この機会を通じ、産地だけでなく、全国各地に「久留米かすりファン」がいらっしゃることを再認識しました。

最後になりますが、かすりすと企画のご理解をいただき、この展示会で「かすりすと」PR・募集の場をご提供いただき、した展示会関係各位に、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

3

# イベントインフォメーション

## 筑後よかもん俱楽部



### ふたりのひかり展

11月25日(土)

~12月24日(日)

ステンドグラスの温かい光  
グラスアートの優しい光

石川 恵子先生、堀 理枝先生による共演。様々なひかりの織りなす輝きを楽しんで下さい。



久留米市東町34-72(一番街)  
TEL.0942-80-1611/休:火曜

## 地場産くるめ いい日地場産フェア

とき 11月11日(土)・12日(日)10時~17時

ところ 地場産くるめ2F(久留米市東合川5-8-5)

久留米紺・特産品全品11%OFF(酒類除く)

地場産くるめでは、皆様方へ日頃の感謝を込めて全商品(酒類及び一部商品を除く)を11月11日・12日の二日間に限り、11%引きで特別販売をいたします。イベントも盛りだくさん!11日に「紺を使ったポプリ人形作り」。紺の風合いがすごく素敵なかわいい人形ができあがります。そして12日には、「紺を使った大判コースター作り」。毎日使っても飽きない、雰囲気のあるコースターが作れます。両イベント共に先着60名様、材料代600円で参加できますので、ぜひお立ち寄りください。その他にもクッキング体験コーナーやミニミニ紺市、古布・着物他逸品コーナーなど、地場産ならではの二日間となっています。展示即売場で1,000円以上お買物されたお客様に11日には生卵1パック、12日には食パン1袋を先着50名様にプレゼント!こちらもお見逃しなく!



## お客様の十人十色の個性を紺で表現したい



アトリエ筑後十色館  
デザイナー&オーナー  
今村 知恵子さん

アトリエ筑後十色館  
久留米市東合川5丁目8番5号  
地場産くるめ2F  
TEL.0942-44-3700



「紺は毎日着ていい素材です。しかも生地の質が高いので普段着からパーティやお呼ばれなどの晴れの日の服として幅広く着られます。個別的には好みと思つものが響きあうというか似合いますからね笑」

伝統的織り幅38cmの制約を、デ

ザインでどう魅力に変えられるか

が似合う方には大柄をおすすめします。個

的基本的には好きと思つものが響き

あうというか似合いますからね笑」

最近はシンプルで飽きの来ない、長

く着られるデザインが好まれるそ

うです。今村さんの趣味は油絵と

が紺の面白さ!と話す今村さん、

シンプルで奥深い紺の世界を今

後も描いて欲しいですね。



白紺のウェディングドレス  
久留米紺との出会いは、石川県出身の今村さんが結婚して久留米に住んでから始まりました。洋裁をしていました。現在独立して2年になります。今村さんはこの筑後十色館でオーダーメイドコーナーを中心にして紺の服を作られています。

着こなし術

織り幅38cmの制約を、

デザインでどう魅力に変えられるかが紺の面白さ!

## 地場産くるめSHOP INFORMATION

### 紺の装い プラス アクセサリー・小物

紺の小物をしのばせて出かけることが多くなる秋。夜長を楽しむとなる秋。そんな生活中に紺の和柄の小物をプラスして、もっと素敵なお秋を過ごしてみませんか。また紺の和柄小物は贈っても、頂いても嬉しいもの。貴女のお気に入りを見つけて地場産くるめまでお出かけください。

文庫カバー 1575円 ペンケース 1575円  
バンダナ 2500円 フォトケース  
ポーチ 1575円 1050円

TEL. (0942) 44-3700

FAX. (0942) 43-1020

HP. <http://www.ktnet.co.jp/jibasan> ※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。



ふるさとは、『頑張り屋』です!  
**地場産くるめ**  
財団法人久留米地域地場産業振興センター